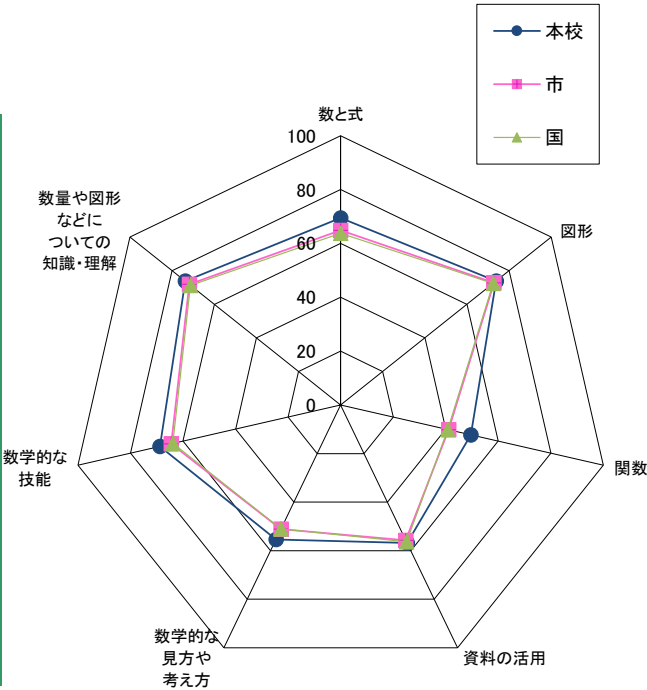


宇都宮市立星が丘中学校第3学年【数学】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【数学】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と式	69.5	64.9	63.8
	図形	73.8	72.8	72.4
	関数	49.6	41.1	40.8
	資料の活用	56.8	55.7	56.3
観点	数学への関心・意欲・態度			
	数学的な見方や考え方	55.4	51.1	51.0
	数学的な技能	68.8	64.5	63.9
	数量や図形などについての知識・理解	73.8	71.9	71.3



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	領域の平均正答率は、全国平均正答率と比較して、5.7ポイント上回っている。 ○四則計算の結果を予想する問題では、正答率が全国と比較して10.1ポイント高く、数の集合と四則計算の可能性について理解している。 ●文字式の説明の問題では、正答率が低く課題がある。	・四則計算の順序や、加減法・代入法などの基礎を見直し、スパイラル学習を通して計算力の向上に努める。用語の意味をととき確認する。また、言語活動を多く取り入れ、自分の考えを相手に伝える練習を継続して行っていくとともに筋道を立てて説明する力をつけさせたい。
図形	領域の平均正答率は、全国平均正答率と比較して、1.4ポイント上回っている。 ○四角形の性質を見いだす問題では、正答率が全国と比較して5.9ポイント高く、結論が成り立つための前提を考え説明する力がついている。 ●図形の平行移動の問題では正答率が低く、課題がある。	・図形の基礎知識を見直すとともに、図形の性質を説明するための根拠に常に目を向けさせるよう指導していきたい。特に証明の学習で筋道を立てて考え証明することや新たに付け加えられた条件の下で成り立つことを考察する力をつけたい。
関数	領域の平均正答率は、全国平均正答率と比較して、8.8ポイント上回っている。 ○表から式を求める問題では、正答率が全国と比較して14.9ポイント高く、十分定着している。 ●具体的事象を式やグラフを用いて説明する問題では正答率が低く、課題がある。	・関数を活用する問題に対して、「適切な立式」や「その式の意味すること」を丁寧に確認することを通して、活用する力を育てていきたい。また、身の回りで関数関係とみるができるものは何か、という活動を行う中で、変化の様子を多角的に捉え関数をより身近なものとして感じさせたい。言語活動を多く取り入れ、説明する力をつけさせたい。
資料の活用	領域の平均正答率は、全国平均正答率と比較して、0.5ポイント上回っている。 ○問題解決をするために根拠となる値を選択する問題では、正答率が全国と比較して3.7ポイント高く、場面に応じた適切な代表値を理解している。 ●確率を求める問題では正答率が低く、課題がある。	・2年次に学習した確率の定着が不十分である。具体的な場面で確率を求める方法を再度確認し、内容の定着に努めたい。